

2024年10月10日

各位

三井住友信託銀行株式会社

サステナビリティ・リンク・ローンの契約締結について  
(グローリー株式会社)

三井住友信託銀行株式会社(取締役社長:大山 一也、以下「当社」)は、グローリー株式会社(代表取締役社長:原田 明浩、以下「グローリー」)との間で、ローン・マーケット・アソシエーション(LMA)(※1)等が策定した「サステナビリティ・リンク・ローン原則」および環境省が定めた「サステナビリティ・リンク・ローンガイドライン」等(以下、総称して「サステナビリティ・リンク・ローン原則等」)に則した「サステナビリティ・リンク・ローン」の融資契約(以下「本件」)を締結いたしました。

サステナビリティ・リンク・ローンは、借り手の経営戦略に規定されているサステナビリティ目標と整合した「キー・パフォーマンス・インディケーター(以下「KPI」)」と「サステナビリティ・パフォーマンス・ターゲット(以下「SPT」)」を設定し、貸付条件とSPTに対する借り手のパフォーマンスとを連動させ、SPT達成への動機付けを与えることで、環境的・社会的に持続可能な経済活動および経済成長を促進し、支援することを目指すものです。

本件は、グローリーが2024年5月に策定した「サステナビリティ・リンク・ファイナンス・フレームワーク」(以下、「同フレームワーク」)(※2)に基づくもので、同フレームワークは株式会社格付投資情報センター(代表取締役社長:山崎 宏)より、サステナビリティ・リンク・ローン原則等への適合性についてセカンドオピニオン(※3)を取得しています。

当社では、サステナビリティ・リンク・ローンなどのサステナビリティに関するソリューションの提供により、SDGs達成に資するお客さまのさまざまな事業活動を支援するとともに、お客さまの中長期的な企業価値の向上に貢献することを引き続き目指していきます。

<グローリーについて>

グローリーは、1918年に創業した通貨処理機のトップメーカーです。現在は、「世界最高水準の製品群とソフトウェアプラットフォームを融合し店舗DXをサポートする企業」を目指し、ソフトウェア販売やデータアナリティクス技術、生体認証技術、画像認識技術を活用した新領域事業の拡大にも注力しています。「絶えず世の中にないもの、人の役に立つものをつくり続ける」という精神のもと、変化する環境や市場のニーズに対応する製品・ソリューションの提供を通じて、さまざまな社会課題の解決に取り組んでいます。

<KPI および SPT の概要>

本件は、以下の KPI と SPT を設定しています。

KPI	グローリーグループ(※)における CO2 排出量(スコープ 1・2)削減率 (※)グローリー及びグローリーの国内・海外連結子会社が対象								
SPT	各対象年度によるグローリーグループにおける CO2 排出量(スコープ 1・2)削減率を下表値以上にすること								
	年度	2022	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
	グローリーグループにおける CO2 排出量(スコープ 1・2)削減率	基準年	10.6%	15.9%	21.2%	26.5%	31.8%	37.1%	42.4%
SDGs	 								

(※1) ローン・マーケット・アソシエーション (LMA)

欧州、中東、アフリカのシンジケートローン市場の流動性、効率性、透明性を改善することを目的とした協会であり、60 ヶ国以上に属する 700 以上の機関が加盟しています。

(※2) サステナビリティ・リンク・ファイナンス・フレームワーク

[https://www.glory.co.jp/files/user/csr/pdf/SLB2024\\_framework.pdf](https://www.glory.co.jp/files/user/csr/pdf/SLB2024_framework.pdf)

(※3) サステナビリティ・リンク・ローン原則等への適合性についてのセカンドオピニオン

株式会社格付投資情報センターのウェブサイトをご参照ください。

<https://www.r-i.co.jp/rating/esg/index.html>

以上